

環境特集号

—ごみ減量・リサイクルの輪を広げよう！！—

第8号（平成17年7月発行）

豊能町建設水道部環境課

豊能町役場環境課 TEL739-3419（直通）

清掃事務所 736-1190（直通）



**リサイクルフェア・フリーマーケットに
たくさんのご来場ありがとうございました。
た。**

5月29日（日）、吉川中学校の体育館とバスケットコートで恒例のリサイクルフェア・フリーマーケットを開催しました。好天の中、たくさんのご来場をいただきました。

リサイクル品の提供をいただいた多くの皆さん、ご協力ありがとうございました。また、お持ち帰りいただいた皆さん、大切に使って（リユース）くださいね。

次回は11月の町民祭で開催予定です。皆さんのご協力とたくさんのご来場お待ちしております。

います。

豊能町ごみ減量化計画(第2次)を策定!

ごみの減量については、平成12年度に策定した「豊能町ごみ減量化計画」(平成16年度が目標年度)に基づき、生ごみ処理機の普及(購入助成)、容器包装プラスチック類・紙類等の分別収集、さらには植木剪定くずの資源回収、食用廃油の拠点回収等の様々な施策を住民の皆さんの協力を得て積極的に取り組んできました。町では、本計画の基本的な考え方を継承しつつ、これまで以上のごみ減量・資源化を図るため、平成17年度を初年度とした「豊能町ごみ減量化計画(第2次)」を新たに策定しました。計画の策定にあたっては、豊能町廃棄物減量等推進審議会に諮問し、延べ10回に及ぶ審議を経ていただいた答申の主旨を踏まえたものとなっています。

以下、本計画の概要について

豊能町ごみ減量化計画(第2次)

○基本方針

- ①4Rを推進する
 - ②住民・事業者・行政のパートナーシップに基づく取り組みを実践する
 - ③環境への負荷の低減に努める
- *4R・・・リフューズ(Refuse:ごみとなるものの受け取りを断る)
リデュース(Reduce:ごみとなるものを減らす)
リユース(Reuse:繰り返し使う)
リサイクル(Recycle:資源として再利用する)

○計画期間

本計画は、平成17年度を初年度とした10年間の計画であり、平成26年度を目標とする。ただし、5年後の平成21年度を中間目標年度とし、その時点で検証・見直しを実施するものとする。

○計画の管理進行

本計画は、次のように進行管理をおこない、目標を達成していくこととする。

- ①各年度当初に前年度の総排出量や取り組み状況を行政が点検し、目標の達成状況を公表する。
- ②中間目標年度(平成21年度)には、住民・事業者・行政が参加する審議会などで、それまでのごみ排出量の推移や取り組みによる効果など検証し、必要に応じて計画の見直しを行う。

○目標数値

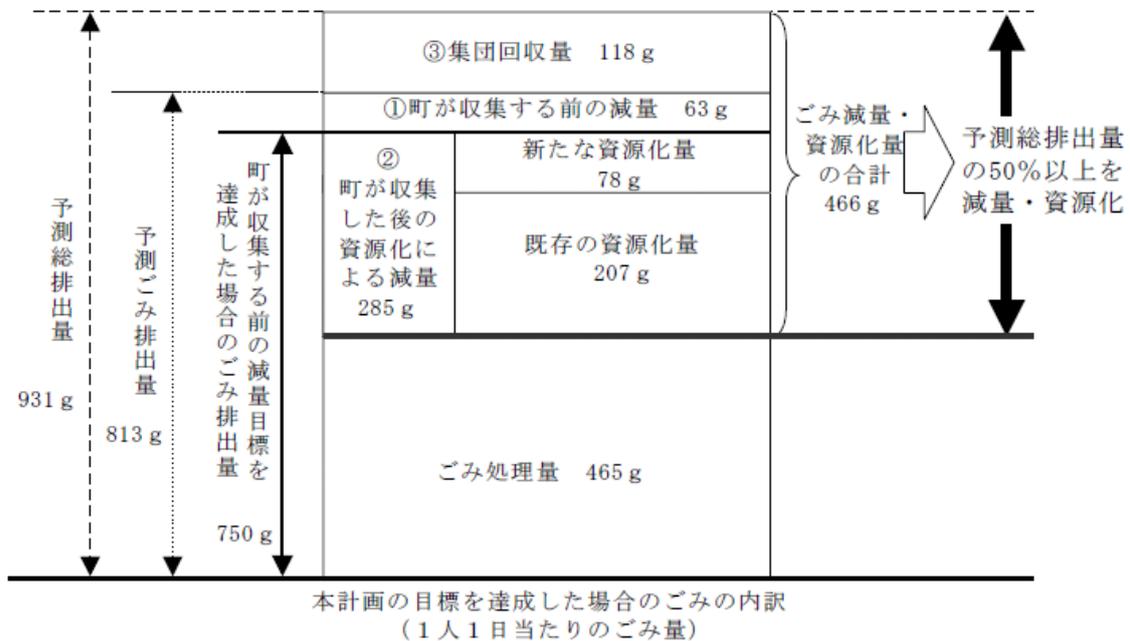
目標年度の総排出量(1人1日当たりのごみ排出量と集団回収の合計量)のうち、50%以上を減量・資源化する

減量の目標数値については、将来の人口の推移に左右されないように、1人1日当たりのごみ排出量をもとに設定し、平成9年度から15年度までのごみ排出量の実績から推測した予測排出量で考えています。そして、家庭系ごみのごみ質調査の結果から減量の可能性を詳細に検討し、それぞれ次の目標を掲げました。

- ①町が収集する前の減量（発生抑制・排出抑制）についての目標
 - 目標年度の1人1日当たりのごみ排出量を750g以下にする
(目標年度の総排出量のうち、約7%以上の減量)
- ②町が収集した後の資源化についての目標
 - 目標年度の総排出量のうち、30%以上を資源化する
- ③集団回収の推進についての目標
 - 目標年度の総排出量のうち、13%以上を集団回収により資源化する

として、それぞれの目標を達成し、合計で50%以上の減量・資源化を目指します。

図2-2 目標年度における目標数値の達成イメージ



町ではこの計画をもとに、今後、ごみ減量に向けた諸施策を展開していきます。住民の皆様のご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

*本計画の全容を、役場本庁1階の閲覧コーナーとホームページ上で公開しています。ぜひご覧ください。

ごみの成分調査結果報告～「不燃ごみ」他について

昨年12月発行の「環境特集号第7号」で、ごみの成分調査結果について「可燃ごみ」をお届けしました。今号では、残る「不燃ごみ」、「容器包装プラスチック類（以下「容プラ）」、「その他プラスチック類（以下「他プラ）」の結果について簡単に報告します。なお、比率については重量比で示しています。

◎不燃ごみ

調査したサンプルのうち75.32%が正しい分別で排出されていました。誤った区分で排出された主なものは、プランターやバケツ等の他プラ(8.37%)、ビン(3.18%)、容プラ(2.24%)でした。特にビンや容プラについては、資源として再利用できるものです。正しい分別をお願いします。

◎容プラ（ペットボトル以外）

調査したサンプルのうち85.06%が正しい分別で排出されていました。誤った区分で排出された主なものは、ストローや歯ブラシ等の他プラ(5.93%)、手つかずの食料品や生ごみ等の可燃ごみ(2.23%)、ペットボトル(1.77%)でした。容プラについては、ほぼ適正に分別区分が守られていました。正しく排出されたうちの約2割は汚れたものでした。洗い方が不十分だと、洗った容プラに汚れが移ってしまい、資源として利用できない場合があります。洗ってから、適正に排出してください。

◎他プラ

調査したサンプルのうち57.56%しか正しい分別で排出されていませんでした。誤った区分で排出されていたものでは、容プラが30.65%と非常に高い割合となっていました。汚れた容器も多く混じっており、これらは洗って正しい排出区分に出していただければ資源として再利用できるものです。

◎ごみの成分調査の結果から

平成16年5月に行ったごみの成分調査の結果は、家庭系ごみ全体でみると、約7割が正しく排出されていました。これは他市町と比べると高い数値だと思われます。しかし、個々を見ると、「他プラ」では資源化できるものが半分近く混入していたこと、また「可燃ごみ」では調理されずそのまま生ごみとして排出されたものが多くあったことなど、まだまだ減量が可能であるということがうかがえます。

町としても、井戸端会議や様々な機会をとおして、これらのことやごみ全般に対する疑問や質問に答え、そして啓発をしていきたいと考えています。皆様のご理解とご協力をお願いします。

不燃ごみ重量比 (%)

	割合 (%)
不燃ごみ	75.32
資源紙類	0.77
可燃ごみ	6.52
容器包装プラ	2.24
ペットボトル	0.00
その他プラ	8.37
空きビン	3.18
空きカン	1.49
土砂等	2.11
計	100.00

容器包装プラスチック類重量比 (%)

	割合 (%)
容器包装プラ	85.06
ペットボトル	1.77
資源紙類	1.60
その他プラ	5.93
可燃ごみ	2.23
不燃ごみ	0.29
空きビン	0.00
空きカン	0.14
土砂等	2.98
計	100.00

その他プラスチック類重量比 (%)

	割合 (%)
その他プラ	57.56
資源紙類	0.07
容器包装プラ	30.65
ペットボトル	1.16
可燃ごみ	6.18
不燃ごみ	2.11
空きビン	0.00
空きカン	0.02
土砂等	2.25
計	100.00